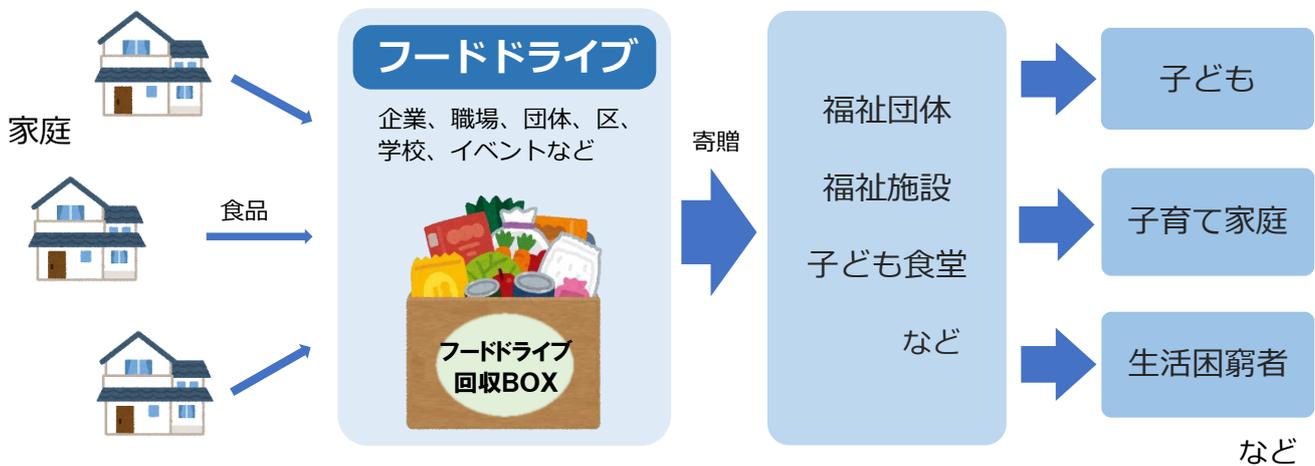


始めてみませんか？フードドライブ

フードドライブとは？

「フードドライブ（※）」は、家庭で余っている食品を職場などで持ち寄り、集まった食品を地域の福祉団体、福祉施設、子ども食堂などの支援団体に寄贈することで、食べ物を必要とする方々に届ける助け合いの活動です。近年、問題となっている家庭での「食品ロス」の削減や、SDGsの具体的なアクションにも寄与する活動です。

※「ドライブ」には寄付活動の意味があります。



フードドライブはどこでできる？

- ・企業（職場単位でも）、団体、区、学校、イベントなど、人の集まるところならいつでもどこでも実施することができます。
- ・食品を受け付けるのは、社員や団体のメンバーのみに限ることもできますし、一般の方から受け付けてもよいでしょう。

フードドライブの実施手順

①実施場所、期間、集まった食品の寄贈先などを企画する

- ・実施期間に決まりはありませんが、今回、令和5年3月を「フードドライブ・スタートアップ月間」として市が広報を行いますので、この期間に合わせて数日から数週間程度、まずはスポット的に実施してみたいかがでしょうか。
- ・一般の方から受け付けるかどうかを検討してみましょう。
- ・集まった食品の寄贈先は、地域の支援団体などから探すと良いでしょう。



②食品の寄贈先と事前調整を行う

- ・ 寄贈したい支援団体などに事前に連絡し、寄贈できる食品の条件、食品の引き渡し方法・時期、不足している食品などを確認しましょう。
- ・ なお、寄贈できる食品は、常時保存できる未開封の食品で、寄贈時点での賞味期限が1～2ヶ月以上残っているものとするところが多いようです。
- ・ また、食品以外にも、調理に必要な消耗品（キッチンペーパー、割り箸、おかずカップなど）や学習用品（鉛筆、ノート、画用紙など）などを受け入れているところもあります。
- ・ 団体への引き渡し方法は、寄贈先まで届けるのが一般的ですが、事前に調整を行いましょう。

③実施について告知・PRする

- ・ 職場や団体内での広報や、チラシ、ポスターなどでフードドライブ実施の周知を行いましょう。
- ・ その際に、受付可能な食品などの注意点や、集まった食品の寄贈先も併せて周知しましょう。

④フードドライブを実施する

- ・ 食品回収ボックス、案内掲示などを設置しましょう。
- ・ 寄付者の名前を記録する場合は受付用紙や筆記用具を、また、食品の重さを記録してもらう場合は計量器を用意しましょう。



⑤集まった食品を集計する

- ・ 集まった食品の数量、重量などを集計し、必要に応じて写真撮影しておきましょう。
- ・ 集計結果は、職場などの内部報告や、外部への公表などに活用することができます。



⑥集まった食品を寄贈先へ届ける

- ・ 集まった食品を、事前に調整した方法で寄贈先の支援団体などに届けましょう。

(お問合せ先)

延岡市 健康福祉部 おやこ保健福祉課 家庭福祉係

電話：0982-20-7202

E-mail：oyako@city.nobeoka.miyazaki.jp